

ゲノムが解明する日本人の成り立ち

文字記録のない古代の集団の成り立ちや周辺集団との近縁関係は、これまで人骨の形態学的な研究をもとに調べられてきた。しかし、20世紀の終わりから始まる分子生物学の発展によって、古代試料に残されたわずかなDNAの分析ができるようになると、人類集団の起源と成立の研究は新たな段階に入ることになった。本発表では、最新の古代ゲノム研究が明らかにしつつある日本人の成り立ちについて、主として縄文人と弥生人の関係を中心に解説する（篠田）。

【講師】 **篠田 謙一** 氏
（国立科学博物館館長 / 医学博士）



【日時】 **4月23日（火）**
19:30～21:00

【会場】 協会セミナールーム
および Zoom

【定員】 会場 50人
Zoom 95人（先着順）

【参加費】 無料

【申込み】 下記に必要事項を記入のうえ、FAXでお送りください。ホームページからもお申し込みいただけます。



※ Zoom参加希望の方は、協会HPメールフォームからお申し込みください！ →
本状による申込みはセミナールームでの参加となります。



【4/23 篠田氏講演会 **会場** 参加申込書】 >>> FAX: 03-5339-3449

会員名				医療機関名		
参加人数	人	TEL		FAX		

【主催・問合せ】 東京保険医協会 地域医療部

〒160-0023 新宿区西新宿 3-2-7 KDX 新宿ビル4階

TEL:03-5339-3601 FAX:03-5339-3449